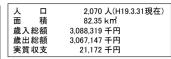
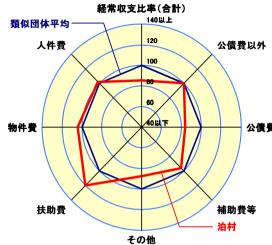
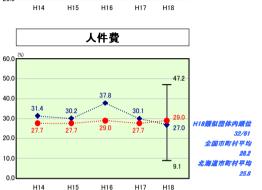
歳出比較分析表(平成18年度普通会計決算)

経常収支比率の分析

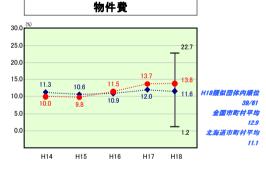








- ※1 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとに チャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- 2 当該団体の八角形が平均値の八角形より内側にあるほど、歳出抑制等により財政
- 3 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類 した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。



類似団体と比較するとやや高くなっているのは、老人ホームなど村営の各施設に職員を配置している点が考えられ が、集中改革プランに掲げる退職者不補充等の人員削減は着実に進んでいる。

類似団体に比べ高くなっているのは、各種施設(スポーツ施設等)の維持管理費に係る管理業務等の経費によるところが大きい。現在のところ業務の民間委託等については考えていないが、かかる経費を少しでも減らし、財政の圧迫に歯 止めをかけるよう努める。 〇扶助費:

への見。 - 扶助費にかかる経常収支比率が類似団体平均を上回り、かつ上昇傾向にあるのは、巻護老人ホーム施設費、身体 障害者福祉施設支援費、老人福祉施設措置費、知的障害者施設支援費等の経費が膨らんでいることが考えられる。 上昇傾向に歯止めをかけるべく、一つ一つの経費に無駄がないかの洗い出しを急ぐ。

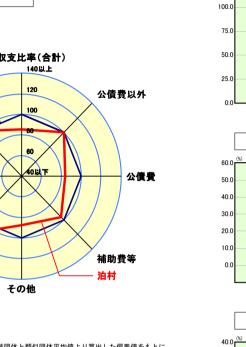
公営住宅建設事業に係る起債の償還は続いているが、類似団体と比較し大きく下回っている。一人あたりの決算額と しては下水道の償還があり若干上回っている程度であり、今後も財政を圧迫するような新規の起債がないよう努める。

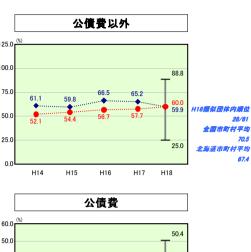
平成17年度以降類似団体を下回っており、今後においても補助費等により財政を圧迫させないよう努める。

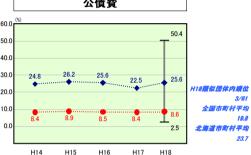
〇その他: 類似団体を下回っており、今後もこの水準を維持し不要な歳出がないよう努める。

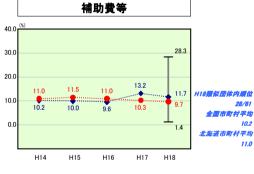
〇普通建設事業費:

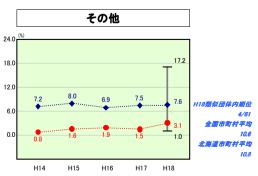
。 本にはチネス・ 平成14年度~17年度は類似団体を上回っていたが、18年度より下回り、今後も不要な歳出がないよう努め、下降傾

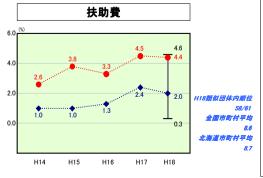






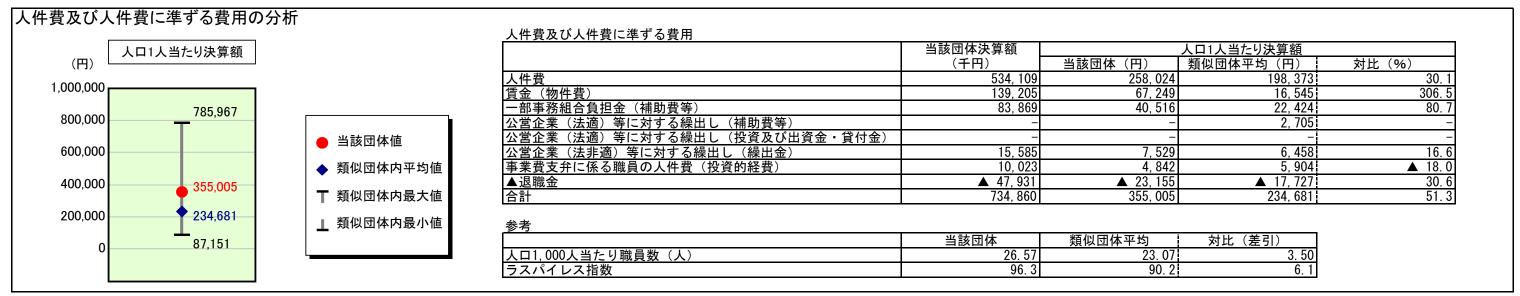


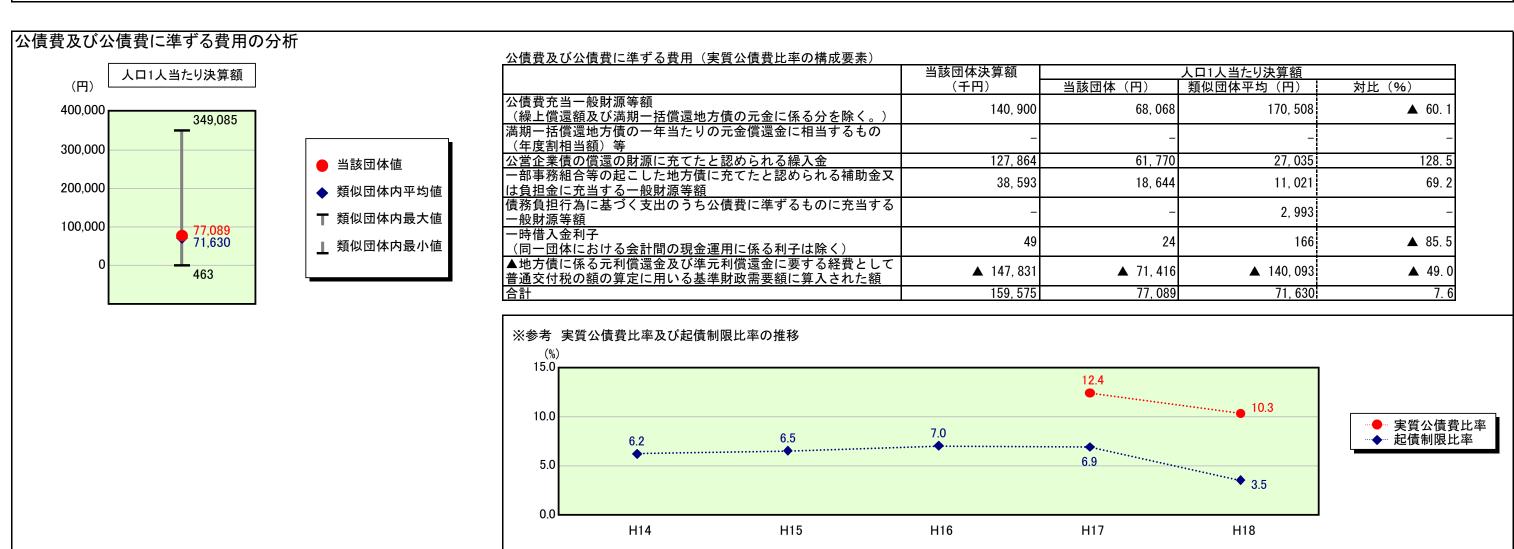




北海道 泊村

歳出比較分析表(平成18年度普通会計決算)

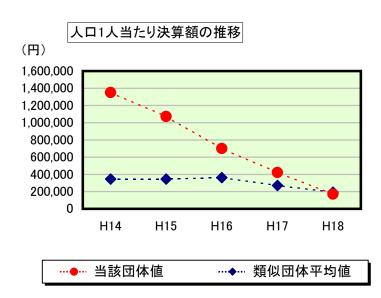




北海道 泊村

歳出比較分析表(平成18年度普通会計決算)

普通建設事業費の分析



普通建設事業費

		当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
			当該団体(円)	増減率(%)(A)	類似団体平均(円)	増減率(%)(B)	(A) – (B)
	H14	2, 836, 070	1, 350, 510	13. 4	345, 807	▲ 4.5	17. 9
	うち単独分	1, 863, 417	887, 341	▲ 5.4	193, 484	6. 7	▲ 12. 1
	H15	2, 268, 152	1, 072, 920	▲ 20.6	344, 983	▲ 0.2	▲ 20.4
	うち単独分	1, 686, 083	797, 579	▲ 10.1	176, 950	▲ 8.5	▲ 1.6
	H16	1, 469, 096	700, 236	▲ 34. 7	362, 974	5. 2	▲ 39.9
	うち単独分	1, 367, 215	651, 675	▲ 18.3	166, 805	▲ 5.7	▲ 12.6
	H17	877, 518	421, 478	▲ 39.8	271, 267	▲ 25. 3	▲ 14.5
	うち単独分	877, 518	421, 478	▲ 35.3	121, 313	▲ 27.3	▲ 8.0
	H18	354, 769	171, 386	▲ 59.3	193, 373	▲ 28.7	▲ 30.6
	うち単独分	354, 769	171, 386	▲ 59.3	111, 830	▲ 7.8	▲ 51.5
過去	55年間平均	1, 561, 121	743, 306	▲ 28.2	303, 681	▲ 10. 7	▲ 17.5
	うち単独分	1, 229, 800	585, 892	▲ 25. 7	154, 076	▲ 8.5	▲ 17. 2